

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：TEL:03-3541-5151

担当者の所属・氏名：消化器内科 山本 和輝

【研究責任者】 聖路加国際病院 消化器内科 山本 和輝

大腸内視鏡検査前処置と虚血性腸炎の関連性・リスクについて評価する研究

1.研究の対象

2005年1月1日から2020年7月1日までに聖路加国際病院予防医療センターにて下部消化管内視鏡検査を施行した方

2.研究の目的・方法

虚血性腸炎は動脈硬化症、虚血性心疾患、高圧症、外科手術、便秘、浣腸、憩室症、大腸内視鏡検査などの腸管内圧上昇、腸管蠕動亢進が関与しているといわれています。

大腸カメラの前処置薬として大腸刺激性下剤の投与が誘因と考えられた虚血性大腸炎の報告はいくつかありますが、リスク因子を正しく評価した研究は一つもありません。場合により重症化してしまい手術を要したとする症例報告もあることから、リスク因子を正しく評価することは急務です。

そのため、今回、私たちは過去に大腸内視鏡検査前処置と虚血性腸炎の関連性・リスクを評価するため、本研究を行います。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2025年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、治療歴、カルテ番号、血液検査、画像検査（超音波検査、CT検査、大腸内視鏡画像）、病理検査など